

文学部FDレター no.8

作成文学部FD委員会 2017年8月

文学部では、ご担当の先生方による授業改善を目的に年2回の授業アンケートを実施し、その結果をお知らせしております。学生自由記述欄に書かれたことについては、授業改善のための情報共有という観点から、FD委員会では整理をし、ニュースレターにて公表してまいりました。前回からは、FD活動自体の改善を目指し、先生方からご提出いただいた「授業改善のために」についてもご紹介することにいたしました。今回も、前回同様、「学生自由記述欄」、「授業改善のために」の順で主な意見をご紹介します。

I. 授業アンケートの学生自由記述欄

今回も従来と同様に2016年度後期の自由記述欄をFD委員が閲覧いたしました。そこに書かれた学生の意見を、以下、一部要約も交えながら「講義」、「外国語」、「演習」の順にご紹介いたします。

1. 講義

(1) 良かった点

- ・授業以外では学べない専門的な知識が身についた。
- ・専門的な知識が身についた。
- ・レポートの書き方が理解できた。
- ・身近な問題について楽しく学べた。
- ・自分の学科の勉強と異なる分野のことを学ぶことができた。
- ・ゲストスピーカーや学科の各先生など、いろいろな人の話を聞くことができた。
- ・説明が丁寧で分かり易かった。
- ・資料提示に工夫（映像資料、一次資料、多様な資料の提示など）がなされていた。
- ・プリント等の資料が充実していた。
- ・リアクションペーパーや質問に対する回答が丁寧であった。
- ・欠席した場合の対応（プリントの配布など）が丁寧であった。
- ・質問への回答が丁寧であった。
- ・レスポンスカードを読んでもらったので、他の人の意見が分かって良かった。
- ・グループワークや実験など、アクションが伴う点が良かった。
- ・対話形式など、双方向性が取り入れられていた点。
- ・担当教員の人の良さ（熱意、やさしい、おもしろい、冗談を言う、など）。

(2) 改善して欲しい点

- ・1回の内容が詰めこみすぎ。補講をしてほしかった。
- ・内容が幅広すぎて、レジュメの内容を講義で扱いきれなかったところ。
- ・教員の専門分野の講義だと熱が入りすぎてわかりづらい。
- ・特講なので、もう少し深い内容まで掘り下げてほしかった。

- ・専門用語を中心とした語句説明を詳しくしてほしい。
- ・シラバスと内容が一致しない。変更があった。
- ・イメージしていた内容と違った。
- ・出席の管理（特に遅刻者への対応）をしっかりとて欲しい。
- ・出席の取り方が非効率。
- ・参考文献が提示されない。
- ・レポートや試験についての説明が足りない。
- ・休講が多かったのが残念。
- ・映像の使用など、資料の提示に工夫がほしい。
- ・簡単でもレジュメがほしい。
- ・質問などに対する応答が不誠実。
- ・怒ったときに、机をけったり、チョークを割ったり、黒板に八つ当たりするのはやめて欲しい。

(3) 教室の施設・設備（受講者数、教室の大きさ、照明の明るさなど）について

- ・授業の人数と教室の大きさが釣り合っていない。
- ・教室が寒い。
- ・パワーポイントが映らない、マイクが使えないなどのアクシデントが多い。
- ・教員の声が響きすぎて少し聴き取りにくいときがあった。
- ・スクリーンが見づらい席がある。

2. 外国語

(1) 良かった点

- ・映像(映画)を見ながら学べ、親しみをもって取り組めた。
- ・外国語の会話が多い授業で、とても上達したという実感を持てた。
- ・日常会話に使える表現についてたくさん学べた。
- ・ペアワークやグループワークで学習できた点。
- ・課題を丁寧に添削してくれた点。
- ・適切な量の課題が提示された。
- ・授業以外でもメールで対応してくれた点。
- ・毎回小テストが実施され、内容をきちんと覚えていくことができた。

(2) 改善してほしい点

- ・黒板が見にくい（字が小さい、読みづらい）。
- ・同じ語学の授業であっても、進度や難易度、負担にばらつきがあるので、そろえて欲しい。
- ・もっと少ない人数で授業を行なって欲しい。
- ・宿題、課題の説明は日本語で行なって欲しい。
- ・教科書が詰め込み型で良くない。
- ・教科書があってもあまり使われなかった。
- ・宿題が多すぎる。

- ・テスト（小テスト）が多い。
- ・異なる種類の宿題やテストを同時に行うのはきつい。
- ・提出した課題が多々返却されず、どのように改善すれば良いのかわからなかった。
- ・クラスによって課題の量が違いすぎる点。前期のクラスよりも明らかに課題が少なく、不安になった。
- ・授業中の私語をもっと注意して欲しい。
- ・授業の終了時間を守って欲しい。
- ・各学生に公平に対応して欲しい。
- ・アンケート中にも仕事をすると行って退室しない。
- ・規定上は5回まで欠席が許されるのに、3回の欠席で普通に試験ができた場合でも落とされた学生がいることを聞いた。
- ・語学の単位数を他の講義と同様に2単位にして欲しい。
- ・1限に設置せず、午後にして欲しい。
- ・プレゼンは社会に出てからも必須のことなので、練習できる授業が欲しい。

（3）教室の施設・設備（受講者数、教室の大きさ、照明の明るさなど）について

- ・教室が寒い。
- ・PCの動作が悪いものがある。全て正常に動くようにして欲しい。
- ・人数の教室の大きさが釣り合っていない。

3. 演習

（1）良かった点

- ・フェミニズム、女性という分野に興味を持つきっかけとなった。
- ・授業で扱うテーマ（言語）についてのアプローチ方法を学ぶことができた。
- ・リスニングの能力がついた。
- ・授業で扱われた題材（文学作品、映画、テキスト）が興味深かった。
- ・先生の添削が丁寧であった。
- ・専門的な知識の収集方法が学べた。
- ・ゼミで扱ったテーマに関心が持てた。
- ・今後の勉強の仕方が学べた。
- ・史料を読む力がついた。
- ・図書館の使い方を学べた。
- ・説明が丁寧で分かり易かった。
- ・発表の機会があり、他の人の発表からも学べた。
- ・発表に対するフィードバックが丁寧であった。
- ・授業外（オフィスアワーなど）での質問、事前指導に丁寧に応じてもらえた。
- ・自分で発表したのでも、深く学ぶことができた。

（2）改善して欲しい点。

- ・使用するテキストが難しい。

- ・発表時間がもっと欲しかった。
- ・ゼミの人数が多い。人数制限をしても良い。
- ・学生の発表の時に教員が眠っている。
- ・試験範囲が広すぎる。
- ・試験・レポートに関する周知時期が遅い。
- ・授業中に態度の悪い学生がいる。注意すべきだ。
- ・言葉遣いを柔らかくして欲しい。
- ・授業を時間通りに終えて欲しい。
- ・アンケートの記入中に教員が退室しない。

(3) 教室の施設・設備（受講者数、教室の大きさ、照明の明るさなど）について

- ・移動しやすい軽い机が欲しい。
- ・ゼミ室に冷房がない。
- ・教室が狭い。

II. 授業の改善のために

「授業改善のために」は、これまでアンケート後に任意でご提出いただいてきましたが、前回より授業担当者全員に提出をお願いすることとなりました。ご提出いただきました先生方に感謝申し上げます。また、今後の提出についても引き続きご協力をお願い申し上げます。以下、皆さまからいただきましたご意見の中から、一部を紹介させていただきます。

0 改善アンケートの結果をどのように分析されますか、より魅力ある授業をするためのお考えをお書き下さい。

- ・「概ね好評」であった。
- ・前年度のアンケートをもとに授業改善を試みたが、学生の評価は分かれ、改善の難しさを感じる。
- ・対話型の授業を行った結果、良いアンケート結果につながった。
- ・Student Development も必要。

I 授業改善で成果がみられたご自身のFD活動について、その内容、期間、効果等について、出来る限り具体的に記述願います。

- ・配布資料や教材の改善に気を配った。
- ・試験答案（論述）の書き方について指導時間をもうけたところ、改善が見られた。
- ・学生へのアンケートに対するレスポンスを毎回行っている。
- ・学習効果を高める目的で、小テストや宿題を実施。

II 授業改善を実施するうえでの問題点について、お聞かせください。

- ・教科書を指定しても購入しない学生がいる。
- ・初回授業の欠席者が多く、ガイダンスの授業が二回目になる。
- ・シラバスで提示されている意図を無視した苦情も見受けられる。

- ・効果ある授業を行うためには、受講者数を一定数に収める必要がある。
- ・学生間の意欲や学力の差に対応するのが難しい。
- ・授業中の態度が良くない学生をどのように指導していくべきか。
- ・自由記述欄の記述が以前より減る傾向が見られ、また不真面目記述も見受けられる。学生自身で自らの学習態度を評価するような項目があっても良いのではないか。

Ⅲ FD 活動全般に関するご意見・ご提言についてお聞かせください。

- ・アンケートの原本をそのまま教員に返却することに問題はないか。少人数クラスでは個人が特定できてしまう。
- ・学生アンケートは匿名である。教員アンケートも匿名にしてはどうか。
- ・45分授業内での20分のアンケート実施は、授業時間を圧迫することになる。
- ・シラバスは学生による選択の前提であり、全教員がきちんとシラバスを作成すべきである。記載に変更項目が生じた場合などは、その旨を明示すべきである。
- ・教員側の反論や意見を学生側に示す機会や手段が欲しい。
- ・FD活動に対する大学の方向性を知るために、専任教員と非常勤教員とが意見交換できる場があるとよい。
- ・FD活動について教員間で情報を共有することが必要性である。
- ・自由記述欄はすべての学生に書くよう指導してはどうか。
- ・授業アンケート集計結果を翻訳してほしい。

Ⅲ. FD 委員会より

1. 今後のFD活動について

ここ数年に渡って、委員会では授業アンケートの学生による「自由記述欄」と先生方からご提出いただいた「授業改善のために」に目を通し、主な意見を紹介してきました。その結果、先生方の授業改善への不断の努力、学生が授業の有用性や学習効果を判断する際の観点、先生方が授業改善に取り組むなかで直面する問題点、より良いFD活動を進めて行く上でのご提言等について、委員会内でもだいぶ認識が深まってまいりました。今後は、これまでに明らかとなった課題に対して具体的に取り組んでゆくことが必要と考えております。

前号のニュースレターにおいて、今後のFD活動の課題として、アンケート結果について学生にフィードバックを行なう体制を整えて行くことを挙げましたが、まずはこの点を再確認したいと思います。自由記述において挙げられた改善希望意見の中には、学生側の誤解や認識不足に原因があるものや、教員側の補足説明があれば解決するものもあるように見受けられます。少なくともこれらの問題はフィードバック体制の確立によって改善されるものと期待されます。

また、「授業改善のために」において提示されたご意見やご提言を教員間で共有できる体制作りも目指して行きたいと思えます。

さらに、アンケートでは、施設や授業環境など、個々の担当者の授業改善の枠や責任範囲を超えた問題も指摘されてきましたが、アンケート結果全体を担当者個人の情報とする観点から、FD委員会に挙がって来た情報を学内で共有する姿勢が不十分でした。今後は、個人情報保護に十分配慮しつつ、施設や教務上の問題については、大学部署間で情報を共有し、改善に努めて行きたいと

思います。

2. 集計結果の記載ミスについて

2015年度・2016年度分の「授業アンケート集計結果」の文面に関して記載ミスがありました。具体的には、授業担当者に返却された「演習科目の集計結果」の3箇所の質問項目の文面が、学生が回答した「授業改善アンケート」の質問項目の文面と異なっておりました。集計結果自体には誤りはありませんでした。

委員会としては、「授業アンケート集計結果」の訂正版を作成・再配布し、対応させていただきましたが、該当する先生方には大変ご迷惑をおかけいたしました。業者のミスとはいえ、学内でのチェック体制も見直し、再発防止に努めて行く所存です。